

# 神戸の新しい世紀に向かつて

小野一夫

神戸も開港百年をむかえ、清盛公の「福原京」のむかしはともかく、近代神戸として再誕生してから、いくどかの節と発展への意志決定をせまられたときがあつたであろうと思われる。それを神戸の先輩諸賢はよく判断されて、官民一致協力して今日の「大神戸」発展への道を築かれたことにたいして、深い尊敬と感謝のまことを捧げるものであるが、それとともに、それ以後われわれがこの栄誉を守りつづけ、さらに発展させなければならぬ重大なる責務のあることを想い、心から覚悟をあらたにするものである。

「神戸はどうなるか？」

「神戸はどう生きるべきか？」  
という声を終戦後からきいて久しい。そしてまた「神戸は地盤沈下の大なるものがあるのではないか？」  
「東京はもとより大阪にくらべても地盤沈下の度がひどく、大阪に合併されるのではないか？」  
「中京の名古屋をみなさい。昔日の田舎町ではない。ああならなければ神戸はつぶれますよ」などなどの声が各方面からいわれるのは否定することのできない事実である。

しかし、今日「神戸」は現実として現存してい

る。それは見方によつては可もなく不可もなくあるかもしれないが、神戸は依然として「不沈空母」のごとく「日本」にも「世界」にも現存している。

ここに私は「神戸」の現実における偉大な存在意義を見出したい。

神戸をまわる環境が——日本的にも——世界的にも——大きく変化したことは何びとも否定しえない。過去の神戸は徳川時代の平戸・長崎にかわる明治・大正の海外文化流入の窓口であったが、航空機に人の移動の中心が移ると、この機能は羽田に全面的に移つた。

政治的要因により旧満・韓・支、およびいわゆる東南アジア貿易が終戦後昔日の面影なく、横浜が得意とする対米貿易に日本貿易の中心が移行したことが、神戸の地位に著しい変化をもたらしたことのも嚴然たる事実である。

統制経済の長期にわたる施行と、自由経済とはいえ最近の世界的傾向たる、経済界にたいする国家介入度の増大が、海運・船舶・雑穀・特産品などの神戸を中心とした、いわゆる「自由市場」をほとんど排除し、その機能の大部分を東京へ、そして一部大阪へ移行させたことも、神戸の機能に

イメージの大きな変化を与えたことは否定し得ない。

日本の重化学工業化——新日本国は貿易構造上「原料・食料・燃料を輸入し、附加価値の高い重化学工業品を輸出しなければ一億日本人が生きて行けない」という——の至上命題に対し、神戸のシンターランドはあまりにも面積的に狭小でありすぎた、等々の理由で、神戸の地盤沈下——それとともに神戸から本社の移転が東京・大阪、就中東京に相続いだので——がややヒステリカルにいわれたのではないかと考えられる。

もちろん「神戸」を「東京」以上の生産力・流通力・政治力の街にしようという考えがあつての声ではないと思う。そのようにいたずらにコンプレックスを売りものにするのが能でもあるまい。

神戸には神戸として果すべき立場と役割があるはずである。しかも「日本」も「世界」も神戸の健全にして素直な発展を望んでいる。ここに神戸の「ビジョン」というより、神戸が「日本」と「世界」に果すべき新しい「義務」が生れてくると思う。これから神戸は他をうらやむことなく神戸に課せられたこの新しい「義務」をまず完全に果すか否かによって、神戸の存在意義が決定せられると考えるがいかがであろう。

まず第一は、神戸の港湾を整備することである。神戸港は「西日本」の「親港」である。神戸港が整備されなければ、西日本の海上交通は、その遠洋近海内航のいずれたるを問わず、完全にその機能が麻痺することを銘記すべきである。

第二は、神戸は、近畿経済圏と瀬戸内経済圏との接点であるとの自覚をよりさらにもつことであ

る。この意味は深い。唯一言にいえば、神戸は「摂津国」で「畿内」にあり「淡路」は「南海道」にあり「播磨」は「山陽道」にあり「但馬」は「山陰道」にあり、ということと、神戸は西日本の扇の要の地点を占めている。神戸が持つこの立地条件は、日本列島中他のいずれの都市よりも偉大なる使命を神戸に課していると解すべきである。

第三は、大阪の過密は当然、兵庫県、神戸市にむかう。これをこころよくうけいれてやるとともに神奈川・埼玉・千葉のごとく東京に従属し、ふりまわされるという関係においてではなく——共生共栄で西日本の経済圏の中心核として健全な発展を考えることである。

大阪湾第一次埋立計画中残された唯一の「尼崎・西宮・芦屋」地元の埋立問題は、兵庫県が行政法上主体であるが、経済的にも、民性的にも、また住民感情的にも、神戸と大阪が一体となって協調、協議し、最善のものを立案実施すべきである。

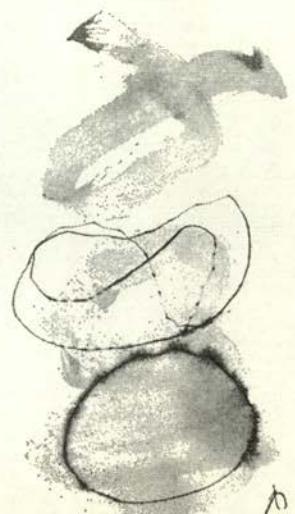
このように考えると、近代神戸は開港百年を一つの節として新しい世紀——時代に歩を進めたのであり、洋々たる将来がわれわれの努力と相まって前途に横たわっていると言明しても過言ではあるまい。そして神戸の人々が、昔と同様に今日も偉大なるバイタリティをもって、日本における神戸の地歩を向上させることに日夜努力していることを私は信じて疑わないが、それとともに、世界の中の神戸に課せられた偉大にして崇高なる「新しい義務」にまた忠実に努力し行動していることを心より信じてゐるものである。

# 場所と文学

小松左京  
え・津高和一

ほかの国でもそうかも知れないが、すくなくとも日本の文学の伝統の中に「自然・風土・場所との交感」という機能が、動かしがたく根を張つているような気がする。そして、それは、近代以降、西欧の文学批評の方法とともに輸入された観点——より精神的・論理的・抽象的な価値基準の外に、生きつづけているようと思えてならない。

日本の文学の重要な機能の一つは「自然・風土・場所」と「人間」を媒介し、そこに「生」を現出させることにあつた、といつていいだろう。これによつて、名もない山や川が人間の息吹きをふきこまれ、ある時、ある人間によつて、そこに一つの生が生きられたしとしての意味をあたえられる。自然や風土や特定の場所は、常に人間の生の舞台であるとともに、うつろい、消滅して行く人間たちが、かつてたしかに存在し、生きていった、ということのあかしだった。——あの山は、かつてなにがし媛が愛人をもとめて、嵐の夜にこえていった山であり、この石は、悲恋の人が愛



人を恋うてついに石になつたものだつた。この峠に戦国の武将は陣をしき、あの川をはさんで歴史にのこる合戦が行なわれた。——自然の中に、こういうしるしがのこされることによつて、後世の人は、それを媒介にして、過去・現在の時系列のへだたりをこえた「一般的な生」の中に、かつて生きた人々との交感をおこなう。自然は、そういう立していいたようなふしがあり、この基盤は「文字に書かれた文学」が成立したのちも、文学の重要な機能の一つであると同時に価値の一面として生きのび、近世近代の文学の底にまでつながつているような気がする。——これを、素朴な自然崇拜や祖先崇拜のなごりと、一概にかたづけてしまうことはできないだろう。この傾向は、自然・風土とそこにさざなれた歴史、祖先との連続意識と現在の生とが混然一体となつてゐる日本民族の下意

識領域の「世界観」と重要なつながりがあるように思われる。自然の「改變」に対する、日本人の意識の底におこる根づよい抵抗も、そういった「生きている」先祖のしるしである「人間の仲間」であり、伴侶である自然と、そのかたち」といった感覚があるからだろう。

文字で書かれた文学、こしらえものの文学が成立するようになっても、この傾向は、やはり文学の底に根づよくのこつていったことは、日本文学の中に、紀行文学の傑作が多いことをもわかるが、「こしらえものの文学」においても、その「舞台・背景」の地域・風土が、きわめて重要な意味をもつづけた。「文学」が「歴史」と一部かさなりあるいは、決定的にたもとをわかっているのは、後者が「事実」を重んじるのに対し、文学は、人間やその活躍の舞台となる自然の中に、「魂をふきこむ」はたらきに価値があると考えられているからで、ここでは「歴史的事実」は必ずしも重要ではない。——近時、伊豆を訪れた時、かつては他国人にはほとんど知られなかつた修善寺が、綺堂の戯曲によつて、いかに日本人の心情の地図の中で大きな意味をもつようになつたか痛感したし、お宮の松のある熱海海岸は、羽衣の松のある三保海岸と同様、すでに日本人にとって「心情の場所」となつてゐることを考えにはいられなかつた。場所や風土に、いきいきとした魂をふきこみ、新しい「意味」をあたえるといふ、文学の機能と価値は、最近では、テレビの連続ドラマ——とりわけ「上方ドラマ」や、地方々をめぐつて行くNHKの連続ドラマ——によつ

て支持されているようだが、日本の文学伝統の中のこの要素は、これからもやはり消えることはないだろう。——明治になつてひらかれた、近畿では比較的新しい神戸の街もまた、その短かい歴史のわりに、近代文学による照明を与えられた土地が多い。布引から熊内の方へぬける道を行けば、中河与一氏の「天の夕顔」が思い出されるし、諫訪山の移民館のほとりにたたずめば石川達三氏の第一回芥川賞受賞作「蒼珉」が思いうかぶ。トア・ロードの坂をのぼつて行けば、アンドレ・マルローの「人間の条件」のラストシーン——タクシードにのる金もないメイが、夫の父、老ジゾールをたずねて行くシーンが想起され、阪急六甲附近では藤沢恒夫の「新雪」が、山陽電鉄に乗れば椎名麟三氏の一連の作品が思いうかぶ、といつたぐあいである。——だが最近の自然や街のたたずまいの急激な変りかたは、そういつた、文学を通じての人生と場所とのかかわりあい、また場所を通じての、文学と人生とのかかわりあいのチャンスを、次第に危機に追いこみつつあるようだ。そういった機縁としての「場所」の保存も、ある程度までは必要であろうが、同時に変革がやむを得ない時代であつてみれば、うみだされつつある新しい都市、新しい風土を、新しい次元において、ふたたびそこにいきる人間との関係の中に息づかせるような、新しい文学もまた、これから書かなければならぬだろう。それによつて新しい街は、ふたたび人々の生活の心情の中に、根づいて行くような気がする。

十河巖  
え・津高和一

# 神戸で 初の活動写真

ちかごろのテレビに「活動屋一代」というタイトルで、牧野省三伝が劇化されて放送されている。

そのうちに眼玉の松ちゃんのことや、連鎖劇という、なつかしい言葉がたびたび出てくる。「松っちゃんは、尾上松之助という初期の旧劇活動写真の俳優や」といえば、すぐ納得がいくらしいが連鎖劇ときては、いまどきの青年にわかるためには、かなりの努力がいるようだ。

その連鎖劇というのは、劇映画の前駆現象といったもので、神戸とはなかなか関係が深い。

はじめて神戸で紹介された映画というのは、南極探險白瀬中尉の映画だったと記憶する。中尉は名を白瀬巖といい、輪重兵将校だったが、一九一〇年に南極探險隊を組織して、海南丸を艦装して自ら指揮者となつて出帆し、一九一一年に南極大陸の南緯八〇・五度に到着した。そこを大和平原と名づけて、日本の領海であることを世界に宣言した。さらに南極に船を進めようとしたが、装備の不足と、食糧の欠乏のために目的を貫徹しないまま、母国にひきかえした。

白瀬中尉の名は有名になつたが、今日ほどマスコミが

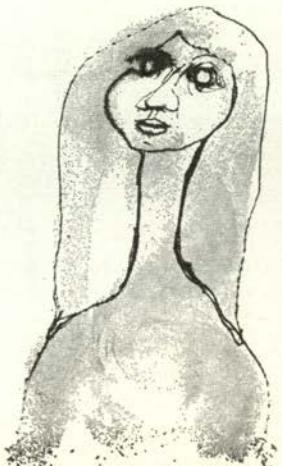
発達していなかつたので、コラーサ号の場合のようにもてはやされず、白瀬中尉はいわば不遇な英雄だつた。

それにも南極探險の活動写真が神戸で紹介され、しかも白瀬中尉が自ら舞台に立つて説明するというので大変な前景気をよんだ。場所は今の湊川新開地の神戸スバル座の前身、相生座だつた。

舞台の前方には探險隊が着ていった防寒服や、額にはめこんだ表彰状のようなものが、いちめんに並べられていた。

中尉の話は軍人らしく至極簡単だつたし、期待している活動写真は天井から吊りさげられた白布に映写されたが、水源に碇泊する海南丸や、羽ばたいて逃げゆくペンギン鳥ぐらいのもので、しかもそれが露出過度で白じららしい画像が、うすぼんやり白布にうつるだけだつたので、思つていたほどの感銘はうけなかつた。

その次に見た映画は「日露戦争活動大写真」である。これもやはり相生座で公開された。実写（いまのニュース映画）かと思つて見ついたが、それは実戦でなく、百人ぐらいのエキストラを使って戦争らしいものを再演し



たものにすぎなかつた。それかといつてストーリーがあるわけではなく、むろん主役も端役もなかつた。二〇三高地に日本軍が馳けのぼつて日章旗を樹てるとバチバチッと手が鳴るくらいのもので、伴奏の音楽など全然ないのだから気分のもり上がるはずがない。一向に気分がのらなかつた。そこで劇場の支配人たちが相談した結果、せめて小銭の音でもさせたらどうかということになつたらしい。

そのころ渋町に住んでいて、新開地とは近くだつたし、また家の方と支配人とは心安くよくして いたので、その翌日、まだ小学校の三年生ぐらいたつわたしに支配人が会いにきた。

「きょうはぼんぼんにおたのみがありますんで。いま相生座で日露戦争の活動をやつてますが、鉄砲の音をたててほしょますのや。それでお友達を十人ほど集めてきてもらえしまへんやろか。ほんの夕方の一時間ぐらいでますし。やつてもらえたら、お小遣いもあげますし

な」

鉄砲には興味があつた。

「ほんほん、やつてもらえまつしやろか」

大の大人が子供に頭をさげるのだから、こちらは得意だった。

「おじさん、ぼくに鉄砲をうたしてくれるのか」

「鉄砲はあるむのおます。鉄砲を鳴らすのやおまへん。鉄砲の音だけさすのだす」

いつこう話がわからない。

「おじさん、鉄砲の音でなんやね」

「細い竹を二本づつ用意しときますさかい、活動で兵隊が鉄砲をうちかけると板の腰掛をバチン、バチンと叩いてほしょますのや。へえへえ、それだけで結構です」

「おじさん、それでええのか」

「それだけやつてもらえた、これから芝居でも映画でも入れてあげます。でも、それはぼんぼんだけだつせ」

「ふーん。そんならやつてあげよ」

その夜、友達を七、八名もつれて劇場へゆくと、舞台裏の白い映写幕の裏側へ案内された。七十センチぐらいで箸ぐらいの太さの竹の棒を二本づつ渡された。画面で日本軍が小銃をうちだすと、支配人が「それ、叩いて！」と合図をする。と、子供らは一齊に二本の竹のムチで腰掛けの板をたたくのである。

結構その竹のムチ音が小銃の音に聞こえるらしくて、りかけると、封筒に入れたお駄賃を渡された。

支配人は、わたしだけをこつそり暗がりへつれてゆき「ぼんだけは他の子よりも沢山入れてあるから、みんなにいわんでおいてや」

ほかの子供らには五銭ずつ入っていたが、わたしの封筒には十銭玉が光っていた。

三日ほどは無事にいつたが、四日目ごろから子供らの集りが悪くなつた。支配人に話してみた。

「おじさん、お駄賃はみんなボクといっしょにしてほしい。そやないと、みな、あしたからやめるといつてるぜ」

明くる日は子供全部が休んだので、大人を狩り集めて、子供の代りをしたらしい。これが生まれてはじめてのストライキだつた。

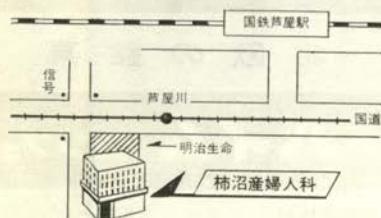
その後、相生座にかかる新派劇の中で悪者を追つかけたり、小船で海へ脱出するような、舞台ではやれないような場面だけを映画に撮つて、映写幕に映し、活動写真が終つて映写幕がするするとあがると、同じ場面に連続した舞台背景ができる、劇の筋がつながる。こんなに劇と映画をチャンポンにしたのを連鎖劇といつたのである。これが劇映画のさかんになる転機となつた。

こんにちは赤ちゃん<2>



大谷和彦ちゃん 5ヶ月  
完全看護★冷房完備★病院前駐車可能

## 芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大沢町 9 番地  
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)  
☎ 芦屋 (0797) 2-2139・2-4087

HAYAMI  
CLINIC



〈ホテル式ドック〉

### 内科ドック

内科精密諸検査

- 通院ドック(2日間)
- 胃腸科ドック(1日間)
- 入院ドック(6日間) <特室・1等室>

★医療法人《速水会》

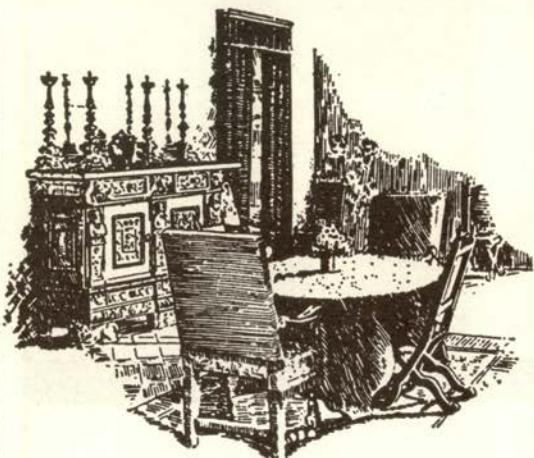
## 速水クリニック

各室エアコンディショニング  
バス・トイレット・テレビ・電話付  
神戸市長田区御屋敷通6丁目(西代陸橋西)  
予約・連絡 TEL(神戸) (62)-4031~2

生田分院 神戸駅前診療所

生田区多聞通1丁目34 TEL (34) 8329

家具・室内装飾・工芸品



## 永田良介商店

神戸市生田区三宮町三丁目・大丸前・電話神戸(39) 3737 (代表)  
東京店・東急百貨店 日本橋店内 1階 03(211) 0511  
本店(渋谷) 6階 03(462) 3180

お中元に

- \*バウムクーヘン
- \*クッキー
- \*マドレーヌ
- \*クリームシモン



ゴールデンセット 1,100円より各種

北欧の銘菓

## ユーハイム コンフェクト

本社・工場 ■ 神戸市葺合区熊内町1 (市立美術館東隣)  
TEL 22-1164・9865  
三宮センター店 ■ 神戸三宮町1 センター街(洋菓子・喫茶バー)  
TEL 33-2421・4314  
生田店 ■ 神戸三宮生田筋(階上喫茶室) TEL 33-0156  
さんちか店 ■ 神戸三宮地下街スイーツタウン TEL 39-3558

# 神戸のアイデイアは神戸のリーダーシップで

小西 一夫

(神戸銀行常務取締役  
神戸経済同友会代表幹事)

★スマトラで覚えたコーヒーの味

上島 常務さんのお生まれはどちらですか。

小西 大阪府の堺市です。商業的・海洋的な町で、古くから自由な気分にめざめていたところだと思います。しかし、小学校から中学のはじめまで堺でしたが、父の転任で堺中学の一年のとき、こちらの滝川中学に転校してき

上島 達司

(上島珈琲本社副社長  
神戸青年会議所理事)

ました。その意味で準神戸っ子の仲間にはいれるかもしれません。

上島 大学は京大の法科でしたね。法科とは何か今のお仕事とは畠ちがいのようですが。小西 法科からもかなり多くの者が銀行に入っていますし、それに私の場合、父が銀行員だったことも影響しているでしょうね。ただ正直にいって高校時代には言葉の



小西 一夫 氏

問題に興味をもっていまして、出来れば大学の文学部でも入り、言語学でも勉強すればなどと夢みていました。もちろん、これでは飯がいただけなかつたかも知れませんね。

**上島** 法科を出てすぐに神戸銀行に入られたのですか。

**小西** そうです。しかし戦いの時代でして入行半年後に軍隊です。文字通り花も嵐も踏み越えて行つたわけですね。「神戸っ子」にでているような楽しい遊び場をエンジョイ出来なかつたことが残念です。(笑)

**上島** それでは終戦当時は外地ですね。

**小西** 赤道直下のスマトラで終戦を迎えた。上島さんを前にしているからというわけでもありませんが、スマトラにいたお蔭でコーヒー党になつてしまつたようです。現地では午後三時頃になりますと軍隊の全員にコーヒーが出て、しかもいかれたが実にうまいのです。それ以来とうとうあの香りに魅せられ、あの色が忘れられなくなつたのです(笑)。戦争という暗いイメージのなかで、ドリアン、ババイヤ、マンゴスチンその他、もろもろの果物とともにスマトラの食生活だけは、うるおいに富んだものがありましたね。さらに日本人をアジアの先輩、兄貴分として心から慕ってくれるインドネシア人の多く

を見るとき、敗戦直後であつただけ身にしみてうれしく思いました。

### ★街らしい街、神戸の経済規模の可能性

**上島** 神戸経済界の地盤沈下と最近よくいわれるのですが、常務さんは東京の仕事をされていた関係で、東京・大阪に比べて神戸をどのように見ておられますか。

**小西** 神戸の地盤沈下とのことですですが、私は必ずしもそれは思えません。むしろ将来を展望すれば無限の発展可能性をすら感じます。東京の場合、何事につけても政治との関連が端的にあらわれるのであります。それから東京は日本の中心だという意識が、時には勇み肌となり、時には獨善性、自尊心となつてわれわれの目にうつるという場合すらなくはありません。しかし経済力の旺盛という現実だけは、やはり認めなくてはなりませんね。大阪の場合、昔から商の道に直結した土地柄だけあって難しさのある反面、ほんとうの商売とはこれだといった面白さを感じさせられます。



上島 連司 氏

神戸と大阪ではそう本質的な違いはないと思うのですが、ちょっと住んでみても両都市のカラーの違いを膚でうけとることも事実です。なんといっても神戸には明るい自然の美しさと、開放的な気楽さとが、大都市としての文化的な香りを織りませ、いろいろな面ですばらしい融合を示していると思います。神戸のような街こそ本来の街というべきではないでしょうか。経済力がもつと旺盛なら錦上花を添えるところですが。私どもの神戸銀行は、このような特色をもつた神戸に本店があり、過去・現在・将来にわたつて地元神戸との結びつきがきわめて強いのですが、このことは神戸のもつ良きイメージを享受することが出来ますし、また地元とともに栄えていき、同時に全国的な規模の銀行として発展していくといふ一面性をもちうる点で非常にありがたいと思います。

**上島** 今後、関西の企業が、東京や地方へ進出することが多いと思うのですが、そういう場合に神戸銀行が地元

企業をバックアップする、という意味も含んでいるのでしょうか。

**小西** もちろん企業の内容や当時の経済環境にもよりますが、できるだけ協力させていただくということにもなるでしょう。

★神戸の発展的な可能性を積極的に追求しよう

**上島** 銀行は企業とともに伸びてゆく、ということですね。ところで、東京・大阪と仕事でまわらなくても、神戸の名を見直す、つまり、改めて見てみる、

**小西** 経済規模の規準を何にとるかで判断も分れましょ  
うが、現在のところある程度他の大都市と格差のあるこ

機能が神戸の場合どう変化しているかといった点に関心をおもいます。さらに都市の巨大化現象を考えますとき、大阪や神戸といって分けて考えること事態が不自然になってしまいます。仮に神戸ということで見ても、播州地帯やヒンターランドの拡大を考えますとき、神戸は大きな変貌を遂げつつ、めざましい発展を示す可能性が大きいにありと期待していいのではないでしようか。

上島 しかし、今後の傾向として、神戸の商社などは運輸業務とか保険業務をのぞいて、今までの神戸の支店をひきあげる、というふうなことを聞いております。

**小西** それに似たようなことが過去にあったようにも、お聞きしますね。しかしまた逆の動きのあったことも耳

の立地条件にも大きな変革をもたらしてくるのではない  
でしょうか。交通事情が良くなり、通信連絡の施設など  
が完備されると、本社機能など地価の安い奥地でも  
よい、といったことも出てこないともいえませんね。い  
ずれにしてもわれわれは神戸の発展可能性を單なる夢物  
語に終らせないよう最善の努力を注ぐことこそ何よりも  
大切と考えます。

上島 神戸のモダンさは、確かに住み良さでもあります

が、その反面、経済の中枢が大阪や東京の方へ移ってい  
くようで淋しい気がしますね。

小西 神戸という名を冠した企業が減るときは、たしかにムードとしては淋しいですね。今もお話をしたように他府県の企業を、どんどん県下にひっぱってくる積極的な姿勢が、各方面にもっとあってよいのではないかと思うこともあります。

★ビジョンを打ち出したら神戸はリータンツブをとれ!

上島 ヒジョンという点では、現在神戸の街の地域開発たとえばポートアイランド、市街地改造といった事業の神戸経済界に及ぼす影響はどうでしょうか。

投資の経済効果といったことについては詳しいことを知りませんが、ごく常識で判断しても、神戸の経済界に有形無形のプラスをもたらすことは間違いないと思います。淡路の新国際空港、明石・鳴門架橋、それに現実のポートアイランドなど、いずれも神戸でこそ一連の問題であり、速やかな実現を地元の者として祈っています。ただこれらの問題のどの一つをとっても政府の絶大な支援協力がなければ一地域だけで取扱える問題でないだけ今後とも政府の積極的な態度を心から望んでやみませんね。

それに経済同友会の出されたポートオーリティの問題でも、こういったビジョンを大阪へもっていくと途端に

弱くなるのですね。

ようですね。ポートオーリティだって大阪が進めている格好ですが種を出したのは神戸です。努力不足に帰するかもしれませんが、折角打ち出したアイディアなら、それがものになるまで神戸が率先してリードする気魄が必要ですよ。それに神戸の皆さんがもつと協力し合うとする気持ちが万事ほしいですね。町のすぐれた良さが経済

の発展にまだまだ生かされていないですよ。その点、青年会議所のメンバーの方々は現在空港問題で張りきつていらっしゃるそうですが。

**上島** この七月十三日で神戸青年会議所も十周年を迎えるオリンピックホテルで、中曾根運輸大臣はじめ知事、市長を迎えて盛大に式典を行ない、これを契機として、Airport of Vision という本を出して、今後淡路の新国際空港建設を目指すことになっています。

**小西** 老人は過去に生き、青年は未来に生きるといわれますが、未来の神戸を思うとき、若い青年会議所の皆さんに大いに期待したいですね。

### ★銀行の二面性に立脚して地域社会の産業育成を！

**上島** さきほど、銀行の二面性について言われましたが、今後の銀行の役目はどうなりますでしょうか。経済界に対して、銀行は指南役であるのか、それとも育成係か指導係であるのか。

**小西** 銀行は経済界の血液、潤滑油であり、発展への刺戟剤であるといわれます。殊に資金供給者としては、でかけるだけコストの安い資金を産業界に供給し、産業界を正しく育成・発展させることも役目の一つだと思います。そのことが地域の発展ひいては日本経済の発展にも通じるでしょ。もちろん金融構造の変化ということも無視できませんが。

**上島** 将来、銀行は単に企業に金を貸して育成するだけでなく、企業に対しても指導的な立場に立つようになるのでしょうか。

**小西** 指導といえばおこがましいが、お得意先に信頼される銀行であるからには事にのぞんでアドバイスを求められる機会も多いでしょうね。そこで自然の勢として、ご相談し合うことが、ますます多くなってくることも予想されます。指導といっても、そういうことではないでしょうか。

できますが、戦国時代に生きている中小企業では、なかなか先を見通すことが難しいので、銀行の適切な指導を望むところが多いです。

**小西** 各国の銀行ともだんだんそういう方向に進んでいます。わが国もその例にもれません。たとえば神戸銀行の場合ですと調査部の経営相談所が専門的にその仕事をやっていますし、全支店がなんらかの知的サービスをさせて戴くつもりで、毎日頑張っています。それだけ常日頃もっと勉強しなければという気持ちにもかられますよ。

### ★経済同友会は地元各団体と相協力して地域問題にとりくみたい

**上島** 常務さんは今春、神戸経済同友会の代表幹事になりましたが、今後神戸での経済同友会の動きについてお聞かせ下さい。

**小西** 経済同友会はご承知のように、戦後の廃墟の中から立ちあがり、お互いに日本経済の復興・発展を念じつゝ同志的結合という形で発足して来たのですね。したがって神戸の経済同友会も、東京や大阪のそれと同じ立場で経済問題に取り組んでいくことはいうまでもありません。しかし神戸の場合、各地域別の経済同友会のあることを考えると、国全体の問題とならんでやはり地域に密着した問題の解明も不グレクトすべきではありません。この点でもわれわれは二面性に立脚しつつ積極的態度で問題に対処しようというわけです。

とくに地域社会の問題に関しては、商工会議所・経営者協会・青年会議所といった地元各団体とは緊密な連繋を保ち、相協力して地域の発展に貢献したいと念願いたします。本年度の事業もこのような基本線の上に立って進めていくのでして、会員の方々のアンケート調査による結果を反映したものであると考えています。

経済ポケツト

ジャーナル

## ★猪名川上流の 一庫ダム建設本決まり

★ 淡路の好漁場に  
轟流釣投葉  
円。同ダム建設によつて山林原野百二十七ヶ、田畑八二ヶ、宅地三ヶが水没とくに川西市国崎で一十七戸、一庫で四戸の水没家屋が出てるため昨年夏から反対運動が起つてゐる。

新規開水量毎秒二・五ト  
次いで二番目の規模。  
（京都府相楽郡南山村）に  
七十三㍍の重水式コンクリ  
ートダムで、有効貯水量は  
一千八十万㌧。淀川水系では  
は、いま建設中の高山ダム  
（川西市一庫地区に水資源開  
発公団が建設する洪水調節  
とかんがい、都市用水利水  
を兼ねる多目的ダム。高さ

面白いわば「魚の保育所」が直接被害を受けたのをはじめ約四百万平方㍍の海域がとくに汚染した。県、地元漁協では西淡町海岸から二十五平方㍍にわたって計画したバイオソルト漁場に、遅くとも八月上旬クルマエビ三百万尾を放流することにしていたが、栽培漁業に不可欠なペントス、デトリタス（ゴカイ類などの底生動植物）が全滅してしまったわけ。海底検査に今後一ヵ月かかるうえで、クルマエビ放流が遅れると年内にマーケットサイズに

すことなど常識では考えられないことだが、これまで廃液投棄していた日ノ岬沖も和歌山県の漁業調整規則違反になることが判明した。『加害者側』の帝国化工は、じめ元請け、下請け各社は、陳謝のうえ補償交渉にも応じているが、この種の『公害』は目撃者がいない限りまず泣き寝入り。

工業生産力は年々上昇。瀬戸内海沿岸の漁業は肩身を狭くするばかり。

この事件は、去る六月十三日未明、兵庫県三原郡西灘町湊港沖三百㍍のところ底の汚染調査を進めていたが、いまのところ漁場の生産力回復のメドは立っていない。

日未明、兵庫県三原郡西灘町湊港沖三百㍍のところで、「第三幸徳丸」（一九五〇年）がチタノ精製廢液（硫酸）百六十㌧全部を漏洩した。

ならないのが痛い。県では底引き網漁船を動員して海底掃海を続ける一方、アメナメ十万尾を試験的に放流し漁場の生産力回復状況をみるとことにしている。

「第三幸徳丸」は岡山県西大寺市の帝国化工が酸化チタン精製で吐き出す廃硫酸を、もともと和歌山県日



\* K O B E オフィスレディ \*



川端久美子さん(19)

日本毛織株式会社 製品課勧務

——巨人、大鵬嫌い、玉子焼好き、と言ひきる久美子さんは、今春入社したばかりのフレッシュなお嬢さん。高校では華道部、現在書道部、と典型的な大和撫子。——頃重に見えて実はオッチャコチャイなのです。失敗の連続、と笑えるのは、会社にも慣れたためであろう。須磨高卒。得意な料理は？ハンバーグとの答え。



ミニからロマンティックへ  
モードの秋に  
マキシンのシャポーを！



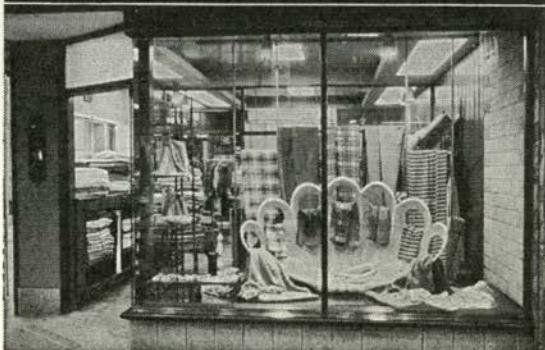
マキシンの帽子のおもとめは  
全国有名百貨店でどうぞ！



Lady's Shop

*La Mode*

MOTOMACHI KOBE TEL 33-5689



## KOBEセンスを生かした 信用と伝統の店



▷ゴルフコーナーには、No.1のダンロップ用品を中心にあらゆるゴルフ用品がそろっています。

▷タカハシのオリジナル・バッグコーナーは定評があります。



バッグとゴルフ用品の店

# タカハシ

神戸・元町3丁目 TEL 33-1172・7782



O-SHIBATA  
柴田音吉洋服店



神戸・元町4丁目南 神戸 34-0693  
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

## ★技術ジャーナル

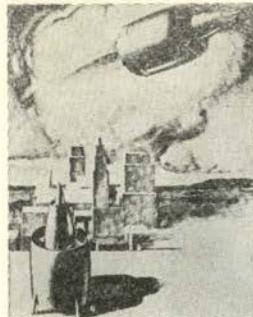
### あすの

### 航空機

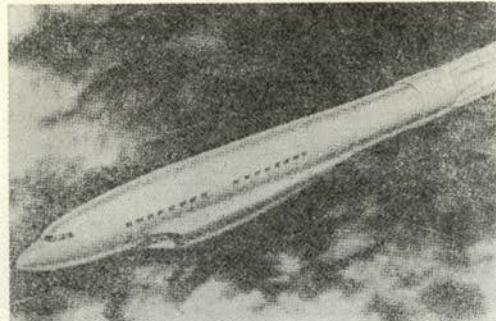
諸岡博熊

（神戸市企画局調査部副主幹）

F・111が人間の乗る最後の戦闘機といわれているが、はたして未来の航空機はどうなるかまことに興味のあることである。



▲米国のカーマン社で計画中のコレオブタ



▲リビッシュ博士が考案したエアロダインの空想図

目下のところ、高速化（例えばSST機の開発）と低速化（例えはヘリコプターの開発）の方向に向かっているようと思われる。このあらわれの一つにVTOL機（Vertical Take off and Landing）といい、垂直に離陸や着陸のできる航空機が開発されつつある。コレオブタ（Coleopter）とエアロダイン（Aerodyne）というあすの航空機の一つの形式として注目すべきものがある。

#### ●コレオブタ

形がカブト虫に似ているのでこの名称がある。一九五四年ごろからドイツの航空技術者によって提唱され、その後、アメリカのカーマン社などがアメリカ海軍のため開発を行なっている。

構造と原理を簡単にいうと、流線形胴体のうしろにターボジェットをつけ、そのまわりに環状の翼がある。このすき間に燃料噴射口や環状翼支柱がある。垂直離昇の際はターボジェットの推力を使いたい、水平飛行にはこの環状の巨大なラムジェットの推力を使つて高速を出す。コレオブタは頭を上にして尾部の脚で上向きに地上から垂直に離陸し、その後九十度に向かえ水平飛行に移る。着陸のときは頭をあげ、エアブレーキを使って、尾部から垂直に接地す

る。飛行中機体の中心軸のまわりにおきる回転は、環状翼の内外に数枚の縦ビレをつけ防止する。操舵はフラップを使う。

#### ●エアロダイン

ドイツの航空機設計家で、デルタ翼の提唱者として有名なアレキサンダー・M・リビッシュ博士が一九五五年末に発表した翼を持たない飛行機である。これは垂直に離着陸し、ヘリコプターのようにホバリング（空中停止）も可能で、普通の飛行機のように飛行するという、まさに革命的なものである。そもそも、翼というものは揚力の発生には必要だが、高速で飛ぶときは大きな抵抗を生じ、じゅうぶん存在となる。この考え方から、リビッシュ博士は離発着時翼ににかわる揚力翼発生装置にジェットの推力を用い、翼のない航空機の開発を行なつた。

エアロダインは、胴体内部の整流装置に吸いこまれる空気を使つて垂直に離発着する。空気は数段のブロワーを通り、カーブつきの拡散器に入り、胴体下部の排気口から噴出する。低速飛行やホバリングのときは、この噴流を下方に偏流させる。前進はターボジェットの推力で、上昇、旋回、下降、などの運動は舵を使用しないで、ジェットの推力を調整して行な

## 神戸のアーバンデザイン ⑯

田園都市  
ジェームス山とクラブハウス

水谷顯介+チーム・UR

日本の住宅「団地」のお手本は、イギリスのニュータウンです。戦

前の郊外住宅地も、イギリスの田園都市の実例が、大いに参考になつているようです。

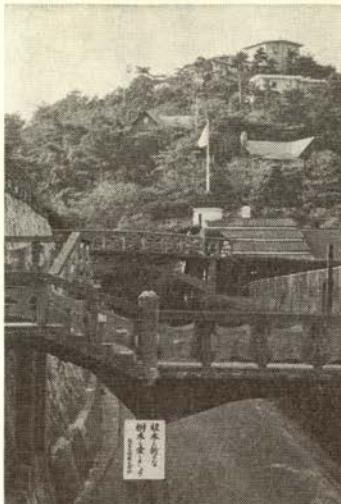
教科書になつた田園都市の雰囲気はこんなものではなかつたか、と思わせる実物が、神戸にあります。塩屋のジェームス山住宅地がそれです。

海を見下す塩屋の丘に一群の赤い屋根の住宅が並んでいます。何かエキゾチックな雰囲気が住宅地をつつんでいます。

中心に、クラブハウスがあります。ホールや図書室・食堂をもつた本館ブール、テニスコート、ローンボーリング場などが、道をへだてた二つの敷地に陸橋でつながれて並んでいます。

クラブは、この住宅地(Estate)の開発者であるジェームス氏の旧邸の一部に昭和初年につくられたものです。クラブハウスの運営は、社団法人「塩屋カントリークラブ」がやっています。クラブのメンバーは、神戸在住の西洋人とその家族です。在日外人の親睦とレジャーの場です。

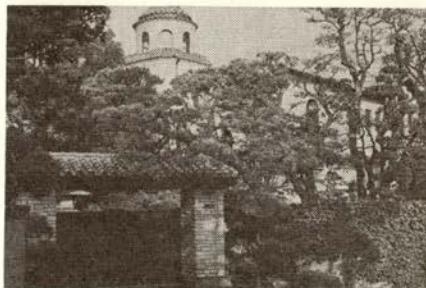
クラブ組織ではありませんが、日本の住宅団地の近隣センターやコミュニティセンターという施設も、このようなクラブハウスを手本としたものです。



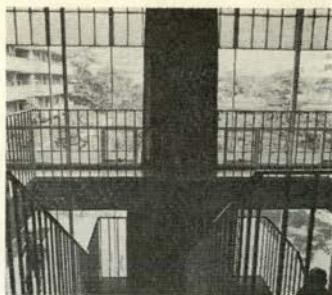
▲ クラブハウスとテニスコートをつなぐ陸橋



▲ ジェームス山から海を望む



▲ ジェームス山の麓の邸宅



▲ 2階ホールより庭をのぞむ



▲ 領事館正面



▲ 見通しのよい玄関ホール

↑ 官舎入口



↑ ガレージ

★噴水公園と背中あわせに位置するこのアメリカ領事館は、昭和三十一年に、日系の建築家、ミノル・ヤマサキ氏の設計により建てられたものです。当時そのシンプルで、華麗な意匠が注目を集めました。

この領事館の構成は、オフィス・官舎・サーパントハウスの三つによるもので、それぞれの建物が別々の入口を持ちながら、一つの庭をとり囲むようにして配置されています。

昔の寝殿造りのような配置構成です。オフィスは二階建。官舎は三階建、サーパントハウスは平屋建です。オフィスの周囲の回廊には、プラスチック製の御簾(みす)がとりつけてあります。官舎のバルコニーの手すりは、縦格子です。サーパントハウスの骨組は、コンクリート製の柱と梁の構成です。

敷地全体を囲む高い塀は、大谷石製です。庭は日本庭園で、日本建築の手法がいろいろなところに使われています。

アメリカ人の日本観の一面を知るうえでも、興味のある和風アメリカ建築です。

(高月昭子)

→ アメリカ総領事館

水谷顕介+チーム・UR

華麗な寝殿造り  
シンプルで

神戸のモダーンリビング

(18)

# CINEMA

## 「スター！」と ガートルード・ローレンスのこと 淀川長治



ジュリー・アンドリュースの七〇ミリ色彩ミュージカル「スター！」の登場で、ことしの夏はごきげんである。

この『スター！』は有名な英米ミュージカルの花形ガートルード・ローレンスの伝記映画化ミュージカルなので一層お楽しみである。

私はこのガートルード・ローレンスとは彼女出演の映画の名作で接し一層彼女に恋こがれたのであつた。

バラマウントのトーキー初期の「春宵凹里合戦」、ロ

ンドン・フィルムの「男は神に非ず」と「描かれた人生」そして「ガラスの動物園」。一九五一年プロードウェイの舞台に戻つてユル・ブリンナーを助演に「王様と私は」に主演した。これは好評でロング・ランをつづけ私はこの舞台の彼女を見たいがためにニューヨーク行きを決心したのに、惜しくも彼女は一九五二年に五十四歳で亡くなつた。私がブロードウェイで見た「王様と私は」は、すでにわびしくもコンスタンス・カーベンタアとかいう代

役に變っていた。口惜しかつた。

「春宵巴里合戦」はコール・ボーターの作曲による彼

女初めての映画出演で、その英國の歌の女王に私はたちどころにまいつてしまつた。『男は神に非ず』はミリアム・ホブキンスとの共演で彼女の役は舞台女優で良人の演じうとする妻を演じた。『描かれた人生』は画家のレンブラント(チャールス・ロートン)の伝記映画。『ガラスの動物園』はテネシイ・ウイリアムズの舞台劇の映画化。

彼女は子供のころからレヴュウや舞台劇の子役として活躍した。そしてその仲間には同じく子役のノエル・カワードがいて、その劇団が巡演するとき、いつもこの可愛いらしい女の子と男の子は仲良く列車の椅子にならんで腰かけ、大人の俳優たちから貰つたチヨコレートを分けあって口を入れていたのだ、この子供一人が面白そうにしゃべり合つていたのは、なんと、わい談だった。

ガートルード・ローレンスの伝記映画といえば、それこそは英米ミュージカルの発展史でもあり、ヒット・ミュージックの年代史でもあり、同時にミュージカルの舞台衣裳、舞台セット、楽屋風景の興味深いスケッチでもあるわけだ。その歌は一九一五年(大正四年)から始まつて一九四〇年(昭和十五年)へとその流行の足跡をさぐるはずだから音楽ファンはさぞやご期待であろう。十五曲の懐のメロディが登場し、マイケル・キッドの舞踊振付でさら

に新しいナンバーが加えられているという。かく申す私もまだ見ていないので胸わくつかせているわけである。封

切まぢかだのにまだプリント(フィルム)が到着しないのである。

★写真左と右はいづれもガートルード・ローレンスに扮したジュリー・アンドリュースの舞台衣裳、舞台セット、楽屋風景の興味深いスケッチであるわけだ。その歌は一九一五年(大正四年)から始まつて一九四〇年(昭和十五年)へとその流行の足跡をさぐるはずだから音楽ファンはさぞやご期待であろう。十五曲の懐のメロディが登場し、マイケル・キッドの舞踊振付でさら



★写真左と右はいづれもガートルード・ローレンスに扮したジュリー・アンドリュース

の舞台衣裳、舞台セット、楽屋風景の興味深いスケッチであるわけだ。その歌は一九一五年(大正四年)から始まつて一九四〇年(昭和十五年)へとその流行の足跡をさぐるはずだから音楽ファンはさぞやご期待であろう。十五曲の懐のメロディが登場し、マイケル・キッドの舞踊振付でさら

スが、オーケストラの全メンバーを乗せたまま、演奏しながら、そのオーケストラ・ボックスが今度はなんと舞台の正面から奥へと後退し、そのオーケストラ・ボックスのあとからはダンサーたちがけんらんとせり上つてきたのには驚いた。「スター！」もそのような面白いレヴュウ・ショウの舞台と舞台裏がふんだんに見られるにちがいない。監督がロバート・ワイスということもこの大作への楽しみをふくらます。